

6 学年部会部報

平成 23 年 11 月発行 No. 5

～ 月例会⑤ 11月2日(水)18:30から 資生館小学校 ～

支部大会の授業について話し合いました。10月26日(水)の臨時学年部会等を経て、指導案が出来上がっていましたので、授業の主張や本時の具体的な教師のかかわりなどを確認しました。以下のような授業を公開していただきます。

本時の場面は、「組み合わせ」の1時間目です。これまで「順列」の場面について図や表を用いながら落ちや重なりがないように考える学習をしてきた子どもたち。本時の提示問題に出会い、「これまでの考え方を使えばわかりそう」と見通しを立てながら取り組む姿が予想できます。

これまでと同じように落ちや重なりなく調べていくと、12通りという選び方が見えてくるでしょう。しかし、問題場面をよく見てみると、「2つの順番は関係ないのではないか」という問いが生まれてくると考えられます。「チョコ・バニラ」と「バニラ・チョコ」を同じと見ると、6通りという選び方が見えてくるのです。

これまでとは違う問題場面に出会い、樹形図などで調べてきた自分なりの方法を見直します。問題場面のイメージと合わせて考えていく中で、組み合わせという新たな選び方について学び合っていきます。

「場合の数」6時間扱い(本時4/6)

前時までに「順列」について学習してきている。樹形図や表を用いることで、落ちや重なりがなく調べられるよさを実感し、考え方を理解してきている。

本時の展開

チョコレート、ストロベリー、バニラ、キャラメル
の4つの味のアイスクリームの中から、違う2種類
を選びます。どんな選び方がありますか。

12通りかな?6通りかな?それとも…?

今までと
同じ?

チョコ・バニラと
バニラ・チョコは
同じ?

今までと違う
感じがする!

12通り? ← → **6通り?**

全て書き出す 樹形図をかく 線でつなぐ

順番を考えないのなら…
6通りだ!

順番が関係ないときには、重なっている
ものを消せば求められる!

本時はアイスクリームを2種類選ぶという問題場面に設定しました。子どもたちがイメージしやすいようにと、学級の実態から考えられたものです。この場面において、「選ぶ2種類の順番は関係ない」ことが1時間を通して子どもに見えてくるのが重要になってきます。そのための提示方法などが本時の展開の中で問われます。

また、順列の場面の選び方との違いにどう気付かせていくかということも問われます。順列の場合も、組み合わせの場合も、どちらも落ちや重なりがないように子どもたちは調べています。しかし、それぞれの「重なり」の意味が違うのです。図や表と合わせて考えていくことのできる、話し合いの焦点化が重要になってきます。

浜辺先生の公開授業をもとに、6年生にとっての基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・表現力を育てることについて深めることができると考えています。

25日(金)の支部大会は、資生館小学校にて13時10分受付開始、13時40分授業開始となっております。授業会場は6年3組教室です。

また、月例会⑥は12月1日(木)18時30分より円山小学校にて行います。

文責 附属札幌小 古川